

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
心理学Ⅱ	～218	1年生・後期	2単位	選択	林 幹男	
履修の前提条件	日常生活を心理学的な視点から理解しようとする意欲をもっていること。 心理学Ⅰを履修していることが望ましい。					
授業概要 (Course Outline)						
前期(心理学Ⅰ)に続き、私たちが社会の中で生きる存在として他者との関係や自分自身を振り返りながら、個人また社会人として期待される役割・責任の遂行に関わる資質や健康を維持するための「生きる力」づくりを巡る日常課題について考える内容の授業です。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving					○
	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					○
	リーダーシップ Leadership					○
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
私たちが人間らしく生きるに値する人生を送るための健康な心を育む条件や要因について、今日の研究・実践成果をもとに、あらためて「生きる力」の意味を考える授業にしたい。						
事前学習の内容	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。					
事後学習の内容	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
各授業テーマに関連して受講生の身近な体験を通して確認したり深めたりするためのグループワークを導入します。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
設定されたオフィス・アワーは勿論、随時、研究室(1号館1階)を訪問いただくと対応します。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション: 人間として成長すること～心理社会的発達		
第2回	発達現象と発達課題①乳・幼児期		
第3回	発達現象と発達課題②児童期		
第4回	発達現象と発達課題③青年期前期		
第5回	発達現象と発達課題④青年期後期		
第6回	発達現象と発達課題⑤成人期前期		
第7回	発達現象と発達課題⑥成人期後期		
第8回	発達現象と発達課題⑦老年期		
第9回	生きることと心の健康(精神保健)		
第10回	心の健康と生物学的条件		
第11回	心の健康と心理学的条件		
第12回	心の健康と社会的条件		
第13回	心の病理(トラブル)への対処①医療・専門的資源活用		
第14回	心の病理(トラブル)への対処②自己・日常的資源活用		
第15回	期末試験: 筆記試験		
第16回	まとめと振り返り: 現実をたくましく生きるために		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
基本的に、「心理学 I」で使用した教科書を引き続き使用する予定。			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
毎回、補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
期末試験の成績と授業中の参加度(質問・発表、グループワーク等)を総合的に評価します。両者の比重は、概ね6対4			